活動情報			
取組項目	啓発・普及		
組織名	三区町環境保全隊	那須　管内	那須塩原　市

活動目的：農地・水・環境保全向上対策の必要性と効果の理解促進

活動内容：多くの地域内外住民の参加で実施した活動や三区町環境保全隊独自の特徴的な活動が、下野新聞や地元コミュニティ誌に掲載され、農地・水・環境保全向上対策の多様な取り組みと効果をアピ-ルすることができました。

節電の夏　涼しく古里を満

三区町の魅力 再発

完全無農薬のアイガモ農法水田を見学する参加者

【那須塩原】三区町環境保全隊の「那須疏水&田園ウォーク」が2日、三区町公民館を発着点に行われ、地区内外から家族連れなど167人が参加した。

農地・水・環境保全向上対策に取り組む保全隊が地区内の有機栽培米、化学肥料や農薬を半減させた特別栽培米のPRと地域住民、消費者との交流を目的に開催した。

公園、寺院など歴史的風物詩や環境保全隊の「那須疏水&田園ウォーク」を学び自然を満喫した。参加者は約4時間。

赤やピンクのポピー一面に

三区町と一区町 地元住民ら栽培

那須塩原

【那須塩原】三区町と一区町の休耕田2カ所でポピーが見ごろを迎えている。三区町は12ヘクタールの広さに、4、5年前から地元住民約400人でつくる三区町環境保全隊（木下厳代表）が栽培した赤やピンクの花が初夏の風に揺れ、多くの見物客が訪れている。

一区町には0・5ヘクタールの休耕田に赤を主体の花が一面に咲き、青いヤグルマギクがアクセントを添えている。同所の農業八木沢信雄さん（63）が「地域に潤いを」と10年前から栽培。同所は地域の歴史的農業施設や自然景観などを壁根のない博物館としてPRする「田園空間博物館」のサテライト（展示物）に指定されている。

三区町は、国道4号から広域農道（通称たて道）を西那須野塩原インターチェンジ方面へ約400メートル進み丁字路交差点を右折。一区町は、「たて道」を南進し国道461号との交差点をさらに南へ約500メートル。

那須塩原市三区町環境保全隊が丹精する休耕田のポピー

一区町の休耕田で見ごろを迎えたポピー

そすいの郷

第205号
2011年（平成23年）
6月20日 編集・発行
西地区コミュニティ運営委員会
広報編集部会

三区町環境保全隊

ポピー畑、田園風景百選、活動報告会＆祝賀会

7月2日（土）は「田園ウォークin三区」

西地区の「初夏の風物詩」ともなっている三区町環境保全隊（代表:木下 巌さん）の「ポピー畑」。今年も真っ赤な「お花畑」が、行き交う人の目を楽しませています。

環境保全隊の活動もあり、三区町は「とちぎのふるさと田園風景百選」に選ばれ、認定の標柱と看板が三区町公民館の敷地内に設置されました。

三区町環境保全隊の活動はめざましく、「第4回栃木県元気な農業コンクール」で元気大賞（関東農政局長賞・栃木県知事賞）を、また、全国開催の「第16回環境保全型農業推進コンクール」では大賞（農林水産大臣賞）を受賞しました。これら活動の報告会（受賞祝賀会）。東日本大震災により延期していましたが、6月4日（土）、三区公民館において、多くの関係者の参加のもと、盛大に開催されました。

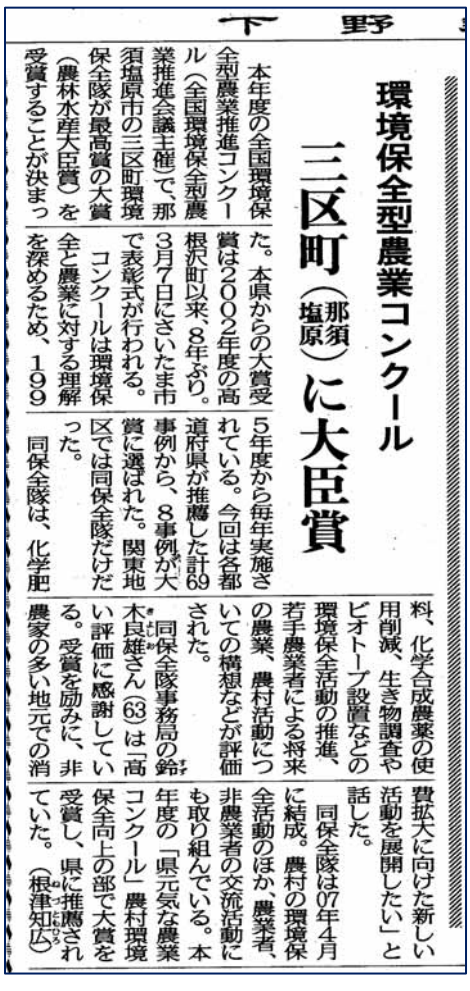
また、報告会の翌日は加治堀、西堀の水路清掃。18日には、コスモス畑・農道・花壇の植栽を実施したほか、来る7月2日（土）には「那須疏水＆田園ウォークin三区」を開催するなど、三区町環境保全隊の積極的な活動が続きます。（3回目となる「那須疏水＆田園ウォークin三区」。三区町地区外の参加50名を含め200名募集中※とのこと。なお、当日、とちぎテレビが取材に来るそうです。）

※詳細は三区町環境保全隊ホームページをご覧下さい。

【左上】
今年も綺麗なポピー畑。秋、コスモス畑に変身です。

【右上】
田園風景百選へは、稲刈り、冬水田んぼに白鳥初飛来、環境に優しい合鴨水田見学、那須疏水でそば粉を挽く水車の4枚の写真で応募しました。

【左下】
受賞報告とパワーポイントを使った共同活動、営農活動の報告の後、祝賀会となりました。（報告者は、鈴木事務局長です。）



下野

環境保全型農業コンクール

三区町（那須塩原）に大臣賞

本年度の全国環境保全型農業推進コンクール（全国環境保全型農業推進会議主催）で、那須塩原市の三区町環境保全隊が最高賞の大賞（農林水産大臣賞）を受賞することが決まった。本県からの大賞受賞は2002年度の高根沢町以来、8年ぶり。3月7日にさいたま市で表彰式が行われる。

コンクールは環境保全と農業に対する理解を深めるため、1995年度から毎年実施されている。今回は各都道府県が推薦した計69事例から、8事例が大賞に選ばれた。関東地区では同保全隊だけだった。

同保全隊は、化学肥料、化学合成農薬の使用削減、生き物調査やビオトープ設置などの環境保全活動の推進、若手農業者による将来の農業、農村活動についての構想などが評価された。

同保全隊事務局の鈴木良雄さん（63）は「高い評価に感謝している。受賞を励みに、非農家の多い地元での消費拡大に向けた新しい活動を展開したい」と話した。

同保全隊は07年4月に結成。農村の環境保全活動のほか、農業者、非農業者の交流活動にも取り組んでいる。本年度の「県元気な農業コンクール」農村環境保全向上の部で大賞を受賞し、県に推薦されていた。（根津知広）